相模川水系　大沢川　洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

大月市

大沢川→

大月市役所　七保出張所

葛野川↓

国道139号

凡例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.0～0.5ｍ未満の区域
- 0.5～3.0ｍ未満の区域
- 洪水浸水想定区域の指定の対象となる河川
- 河道等範囲

相模川水系大沢川　洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

1. 説明文

（1） この図は、相模川水系大沢川の山梨県管理区間について、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨による浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

（2） この洪水浸水想定区域図等は、指定時点の大沢川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により大沢川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3） なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項

（1） 作成主体　山梨県

（2） 指定年月日　令和　8年　3月　25日

（3） 根拠法令　水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項

（4） 対象となる河川　相模川水系大沢川

（実施区間）

左岸：山梨県大月市大字賑岡町奥山字勘蔵2275番地先から葛野川への合流点まで

右岸：山梨県大月市大字賑岡町奥山字下川2520番地先から葛野川への合流点まで

（5） 指定の前提となる降雨　662mm/１日

（6） 関係市町村　大月市

0　50　100　150　200　m

1:2,500

N

※A1出力時はS=1:2,500、A3出力時はS=1:5,000

背景図は基盤地図情報を拡大して使用しているので、位置精度は基図に準じます。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 7JHs 462)